

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3(2021)年度の主な推進内容

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

基本的方向

魅力ある雇用を創出し、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、企業誘致を推進するとともに、既存企業の成長を支援します。

また、創業や事業承継につながる取組を推進するとともに、豊かな自然環境や地域固有の資源を生かした農林業振興を図ります。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度 目標値	単位
有効求人倍率 (毎年3月)	目標値		1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	倍
	実績値	1.24						

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する①

施策の方向性

(1)しごと環境の創出

施 策

1. 計画的な工業団地の整備
2. 企業誘致活動の推進
3. 雇用の確保と安定化
4. 創業・事業承継の促進
5. 魅力ある商店づくり

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
桐生武井西工業団地の 雇用者数【延べ】	目標値		225	250	275	300	320	人
	実績値	—						
創業支援等事業計画に 基づく創業者数	目標値		40	40	40	40	40	人
	実績値	27						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 新たな工業団地の整備に向けて、造成可能な候補地の検討や、今後の在り方の研究等を行います。
- 桐生武井西工業団地の早期完売を目指し、県と連携しながら、本市が持つ強みや魅力を生かした誘致活動を展開するとともに、立地企業に対してフォローアップに努め、新たな雇用創出や地域企業への経済波及効果に繋がります。
- 桐生公共職業安定所や桐生地区勤労対策協議会等と連携し、企業や就職希望者のニーズを捉えた「合同企業説明会」や「高校生就職ガイダンス」を効果的に実施し、地元企業への就職につなげます。
- 市内企業の人材育成を支援するため、中小企業の経営者や従業員が受講した研修費用の一部を助成する「中小企業人材養成事業」について、認定研修機関の拡充に努め、一層の利用促進を図ります。
- 桐生市インキュベーションオフィスを活用した創業支援を実施するほか、インキュベーションオフィスとココトモとの有機的連携による事業実施を支援します。また、「桐生市創業支援等事業計画」に基づき、創業支援機関と連携しながら「オール桐生」の総合力を生かした創業支援を展開します。
- 桐生商工会議所及び桐生信用金庫との包括連携体制や株式会社バトonzとの協定に基づく支援を推進し、後継者不在に悩む事業者の円滑な事業承継を促進するとともに、後継者を育成するための取組を外部機関と連携して行います。
- 「空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金」をはじめ、県が実施する起業支援金の活用を促し、空き店舗の活用と魅力ある店舗などの開設支援を行います。



桐生市インキュベーションオフィス



基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する②

施策の方向性

(2)地域産業の活性化

施 策

1. 市内企業の成長支援
2. 商品開発・販路開拓の支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
従業者1人当たりの製造 品出荷額	目標値		2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	万円
	実績値	2,583 (2017年度)						
販路開拓支援による展 示会等における商談成 約件数	目標値		140	140	140	140	140	件
	実績値	114						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 工場アパートの維持管理や各種支援等を通じて、入居企業の成長を促進します。
- 産業支援機関と連携しビジネスマッチングフェアを開催するほか、国内外の企業やバイヤー等が参加する展示会等への出展補助等を行います。
- 市内企業の新製品・新技術の開発を支援するため、北関東産官学研究会の「産学官共同研究助成事業」や、県と連携して新技術や新製品開発の経費の一部を補助する「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金」などを通じた支援を行い、地域経済に波及効果をもたらす成功事例の創出に努めます。
- 新たな工房の開設を支援するため、「新規工房開設補助金」を継続し、ものづくり産業の集積とまちの賑わい創出に努めます。
- 各組織関連団体や桐生地域地場産業振興センターと連携し、販路開拓や桐生ブランドの定着等に努めます。



工場アパート



東京インターナショナル・ギフト・ショー



桐生テキスタイルプロモーションショー

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する③

施策の方向性

(3)農林業の活性化

施 策

1. 農業の担い手の育成・確保
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
3. 林業後継者の育成
4. 林業振興と林業生産基盤の整備

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
認定農業者数【延べ】	目標値		119	120	121	122	123	経営体
	実績値	117						
林業従事者数【延べ】	目標値		64	64	64	64	64	人
	実績値	64						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 国・県の補助金を積極的に活用し、新規就農者や親元就農者など、担い手の確保・育成を図ります。
- 中間管理事業の制度活用を推進し、担い手農家等の経営規模拡大と農地の集約化に取り組み、農地利用の最適化を推進するとともに、「人・農地プラン」の実質化に取り組みます。
- 国・県の補助金を積極的に活用し、野菜などを栽培するための施設・設備の設置を推進して生産拡大を図るとともに、法人化や6次産業化の支援を行います。
- 新里町において新たに「地域おこし協力隊」を募集し、地元野菜を活用した加工品の考案やインターネットを活用した情報発信による農産物の知名度向上を図り、新里地域の活性化を推進します。
- ぐんま緑の県民税を活用した交流人口の増加に資する取組として、林業体験イベント等を新たに実施し、将来的な林業就業者の増加を目指します。
- 本市の豊富な森林資源の積極的な活用を推進するため、低質材搬出利用補助制度を創設し、森林の持つ公益的機能の保全に努めます。



桐生木材ヤード



基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

基本的方向

恒常的に続く若年層の流出に歯止めをかけるため、桐生がより多くの人から選ばれるまちになることを目指し、まちの価値を高めるシティブランディングを推進するとともに、桐生での暮らしを応援する様々な施策を講じます。

また、交流人口や関係人口の拡大による市内経済の活性化を目指し、本市の自然、文化、歴史、産業等の多様な観光資源を活用した観光施策を推進します。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
社会増減数	目標値		295	285	280	275	270	人減
	実績値	394						

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す①

施策の方向性

(1) シティブランディングの推進

施 策

- 1. 理念・方針等の周知啓発
- 2. 推進体制の整備・活動支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
人口総数に対する転出者の割合	目標値		2.90	2.80	2.70	2.60	2.50	%
	実績値	3.02						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 外部人材を広報監として登用し、専門的知識や経験に基づく指導・助言をいただく中で、本市の魅力をさらに発信するとともに、活力豊かなまちづくりを推進します。
- 「住む人がまちのブランドをつくる」というシティブランディングの基本的な考え方にに基づき、市民等が「まちの価値」を実感するためのセミナーやワークショップ、出前講座などを実施し、広く浸透、理解を図ります。
- 「桐生市シティブランディング戦略」に則り、「まちの価値」を高める様々な活動を公民連携や若年層の市政参画の観点を重視しながら推進します。



桐生市と群馬大学社会情報学部との連携により、同学部へ所属する学生達が作成した学生向けの情報冊子

公民連携によるまちづくりイベント 歩道nite



桐生市公式Instagram「桐撮り」



基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す②

施策の方向性

(2)移住・定住の促進

施 策

1. 移住・定住の促進

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
移住・定住に関する相談 件数	目標値		172	172	172	172	172	件
	実績値	172						
空き家・空き地バンクの 成約件数	目標値		44	44	44	44	44	件
	実績値	44						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 「住宅取得応援助成」を中心とする「きりゅう暮らし応援事業」を引き続き実施し、市外への人口流出を抑制するとともに、市外からの移住・定住を促進し、人口減少対策の更なる強化を図ります。
- 移住・定住促進について、登録物件の動画配信を行うことで空き家・空き地バンクの利用促進を図るとともに、雑誌やSNSなどの各種メディアを活用し、桐生に暮らすことの魅力や移住支援に関する情報を発信します。
- 黒保根町において「地域おこし協力隊」を新たに1名委嘱し（計4名）、地域の活性化とともに定住促進を図ります。
- 黒保根町内において空き家調査を実施し、移住希望者にホームページ等を活用して積極的に情報提供し、空き家の利活用を図るとともに、ひまわり団地の未分譲区画（9区画）の販売促進強化を図ります。
- ウィズコロナに対応するとともにポストコロナを見据え、黒保根町への移住・定住の促進を図るため、黒保根町交流促進センターの会議室をリモートワークにも対応できるよう整備します。



基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す③

施策の方向性

(3)観光の振興

施 策

- 1. 観光客誘致活動の推進
- 2. 観光拠点機能の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
観光入込客数	目標値		4,189,400	4,273,000	4,273,000	4,273,000	4,273,000	人
	実績値	4,078,400 (2017年度)						
観光消費額	目標値		4,994,711	5,094,605	5,196,497	5,300,426	5,406,434	千円
	実績値	4,849,234 (2017年度)						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 織物産業に由来する歴史、建物、文化を本市の特徴として生かし、「日本遺産－かかあ天下ぐんまの絹物語－」の6件の構成文化財をはじめとする歴史的文化遺産の活用や織物工場見学・着物の着付け体験などの産業観光を推進します。
- みどり市と共同で設置した「桐生・みどり周遊観光促進協議会」において、日光を訪れる観光客の取り込みを視野に入れ、桐生・みどり両市を巡るツアーを企画し、誘客を図ります。
- 前橋市をはじめとする赤城山周辺の自治体で連携し、赤城エリアの自然環境や農畜産物等の地域資源を楽しみながら周遊する「赤城山広域連携サイクルツーリズム事業」を新たに実施します。
- 市内にある「日本遺産－かかあ天下ぐんまの絹物語－」の6件の構成文化財の周知、活用について、群馬県公式アプリ「きぬめぐり」を活用した桐生仕様のスタンプラリーを実施するほか、構成文化財を巡るバスツアーや、小中学生（親子）を対象に、桐生の歴史も含め日本遺産に興味を持ってもらう機会とするため日本遺産講座を開催します。
- 本市と同様に日本遺産を有する館林市、足利市と連携してPRを行うなど、日本遺産を効果的に活用した観光振興を図ります。
- 桐生市観光物産協会の一般社団法人への移行を支援し、「桐生市観光情報センター（シルクル桐生）」を拠点として活用しながら、公民連携による観光まちづくりの体制整備と機能強化を図ります。
- 桐生が岡動物園の魅力向上を図るため、新獣舎を建設し、レッサーパンダを導入します。



基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

基本的方向

少子化の流れに歯止めをかけるため、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を充実するとともに、安心して子育てができる環境を整備します。

また、桐生を好きな心豊かな子どもを育成するため、感性を育む特色ある教育の充実を図るとともに、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
合計特殊出生率	目標値		1.46	1.47	1.48	1.50	1.51	—
	実績値	1.13 (2017年度)						

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる①

施策の方向性

(1)結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実

施策

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
市が支援する婚活イベント等におけるカップル成立数	目標値		29	30	31	32	33	組
	実績値	27						
産後1か月頃の母親が回答する「エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）」の結果が9点以上の母親の割合	目標値		調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	%
	実績値	3.6						

R3（2021）年度の主な推進内容

- より多くの出会いの場を提供できるよう、婚活イベント実施団体やお見合い実施団体への支援を行うとともに、各団体と横断的に連携し、効果的な事業の実施方法や周知方法の研究を進めます。
- 子育て世帯の経済的負担の軽減について、保育園等における3歳未満の子どもの「第3子以降保育料無料化」及び3歳以上の子どもの「第3子以降副食費免除」を継続します。また、小・中学校に通う児童生徒の「第3子以降給食費無償化」を継続します。
- 母子保健について、養育のサポートが特に必要な妊産婦とその子等に対し、育児や家事の支援を行う養育支援訪問事業を新たに実施します。また、産後ケア事業居宅訪問型を導入し、産後早期から母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母子とその家族にとって健やかな育児ができるよう支援します。
- 子育て相談について、発達に課題を抱える児童の早期発見・早期対応を行い、児童虐待の防止及び保護者支援の充実を図るため、心理士の配置を月当たり4回から6回に2回増やすとともに、青少年を対象とする相談業務を保健福祉会館へ統合し、子ども・子育ての総合的な相談窓口としての機能を強化します。



基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる②

施策の方向性

(2)安心して子育てができる 環境整備

施 策

1. 子育て支援サービスの充実
2. 青少年保護活動の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
1歳児を持つ母親への問診票の設問「育児は楽しいですか」に対し、「はい」と回答した母親の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	90.0						
ネット見守り活動委員会の会員数【延べ】	目標値		275	285	295	305	315	人
	実績値	275						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

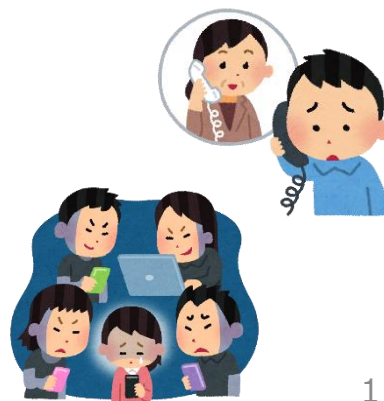
- 保育施設への入園希望状況等を把握し、利用定員の確保や施設整備事業等を実施することにより保育環境の充実を図ります。
- 放課後児童クラブの「第3子以降の保育料無料化」を継続します。
- ファミリーサポートセンター事業については、病児・病後児の預かりや早朝・夜間の預かりなど多様なニーズに対応できるよう、引き続き事業を推進します。また、事業の担い手である協力会員を安定的に確保できるよう、協力会員募集の周知や、講習会を実施するなど、安全な事業推進体制を図ります。
- 子育て支援センターを中心に各保育園等に配置されている地域子育て支援センターと連携を密にし、身近なところで子育てに関する相談を受け、必要な情報提供を行い、保護者支援の充実を図ります。
- 屋内遊戯場では、子育て世代の交流を図りながら、子育てに対する不安の解消を図るため、各専門職による相談業務を充実させます。また、児童福祉週間のある令和3年5月の1か月間、キノピーランドを無料開放します。
- SNSなどのトラブルから子どもたちを守るために、ネット見守り活動のさらなる充実と早期からの情報モラル教育を推進します。



屋内遊戯場キノピーランド



放課後児童クラブ



基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる③

施策の方向性

(3)特色ある教育の充実

施 策

- 1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
- 2. 学校・地域との連携の推進

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
学校評価アンケートの「特色ある教育活動」に関する設問に対し、「満足」と回答した保護者の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	87.0						
学校評価アンケートの「学校の授業の満足度」に関する設問に対し、「満足」と回答した児童・生徒の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	86.0						
放課後子供教室の設置数【延べ】	目標値		8	11	14	17	17	か所
	実績値	2						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 小・中学校において、新学習指導要領の趣旨や内容を踏まえ、各学校の実情に応じた特色ある教育課程の編成・実施を進め、新たに導入するタブレットP Cを活用した学習やデジタル教科書を試行的に活用した学習を行うなど、I C T機器の活用を通じた教育の充実を図ります。
- サイエンスドクター事業において、令和2年度からスタートした小学校への派遣を拡充し、理科教育やプログラミング教育の充実を図ります。
- 幼稚園から小・中学校の外国語活動・外国語科へのつながりについて研究を進めるとともに、A L T（外国語指導助手）を増員し、外国語を幼い頃から自然と身につけられる環境の整備を推進します。
- 黒保根支所国際理解推進事業において、キザニア東京のキャリア教育実践プログラムを活用し、中学生の英語によるコミュニケーション能力のさらなる充実を図ります。
- 少子化が進行する黒保根地区において質の高い教育環境を維持していくため、令和4年度を予定している小・中一体型の義務教育学校の開校に向け、現黒保根小学校の増改築工事を実施します。
- 令和3年9月に桐生市市民文化会館において、小学生を対象に、子どもたちが職業体験を通じて「自分の将来」をデザインし、『桐生市で働き・桐生に住みたい』と考える職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう2021」を開催します。
- 放課後子供教室を新たに三つの小学校内へ設置し、計11校で実施します。
- 産官学民が連携して取り組む特別教育プログラム「未来創生塾」への支援を継続して実施します。



施策の方向性

(4)教育研究・相談機能の充実

施 策

- 1. 教育研究・研修の充実
- 2. 教育相談の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、“満足”と回答した教職員の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	—						

R3（2021）年度の主な推進内容

- 新学習指導要領への対応やICT機器の活用等について各種研修講座や課題研究を実施し、教職員の資質向上に努めます。
- 総合教育センターについては、教育研究所等の既存教育施設の機能を集約するほか、教育庁舎としての機能をも併せ持つ施設整備のあり方について、設置場所も含めて検討を行います。
- いじめや不登校への対応等に向けて教育相談研修を充実させるとともに、オンライン授業についての研究を進めます。
- 適応指導教室の充実については、学校復帰だけでなく、例えば本研究所適応指導教室へ通うことを目標とした社会復帰も目指した指導援助を行いますまた、適応指導教室では、1人1方針に基づく個々の課題に応じた指導援助を充実させるため、教育研究所内のケース会議の内容や方法を改善します。



桐生市立教育研究所



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

基本的方向

「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」の活性化を図るため、誰もが活躍でき、安全・安心に暮らすことのできる環境づくりを進めるとともに、コンパクトシティや歴史まちづくりなど、本市の特徴に応じたまちづくりを進めます。

また、広域的な視点で様々な分野において地域連携を推進し、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めます。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
市民の声アンケートの 設問「桐生市は住み 続けたい生活の場 としての住環境が整っ ている。」に対する市 民実感度	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	26.2 (2019年度)						

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり①

施策の方向性

(1)安全・安心で住みやすい環境づくり

施 策

- 1. 地域防災力の向上
- 2. 地域包括ケアの推進
- 3. 介護予防・重度化防止の推進
- 4. 生活習慣病予防の推進
- 5. 生活習慣病の重症化予防

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
防災に関する出前講座・講演会の参加者数	目標値		420	450	480	500	520	人
	実績値	400						
認知症サポーター数【延べ】	目標値		16,500	17,500	18,500	19,500	20,500	人
	実績値	14,545						
介護予防教室の参加者数	目標値		480	490	500	500	500	人
	実績値	463						
健康寿命（男性）	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	歳
	実績値	78.10 (2016年)						
健康寿命（女性）	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	歳
	実績値	82.05 (2016年)						

R3（2021）年度の主な推進内容

- 令和2年度に大幅な見直しを行った「桐生市地域防災計画」に基づき、これまで以上に「出前講座」などで各地区に出向き、関係機関と連携しながら、きめ細やかに地区単位の防災活動を支援し、地域防災力の強化を図ります。
- 防災アドバイザーを群馬大学理工学部 広域首都圏防災研究センターに依頼し、災害対策への助言や市民・職員向けの講演会等を実施し、地域防災力の向上を図ります。
- 学校における防災教育については、県の事業として指定を受け、令和2年度に行った新たな避難訓練の在り方に関する研究と実践の更なる充実を図り、災害から命を守る備えの充実に努めます。
- 多機関・多分野協働による包括的な相談支援体制の強化に向け、各地域包括支援センターに配置されている人員を3人から4人に1人ずつ増員します。
- 地域の支え合いの仕組みづくりについて話し合う協議体や介護予防に資する場の活動促進、認知症高齢者とその家族を地域全体で見守り、支える体制強化、在宅医療介護連携センターきりゅうを核とする医療・介護連携のネットワーク強化などを引き続き重点的に実施する中で、地域包括ケアシステムの確立を目指します。
- フレイル（加齢により心身の活力が低下する状態）予防の観点から、保健事業と介護予防事業の一体的実施、介護予防に資する通いの場の充実や住民主体の活動促進などの取り組みを重層的に展開し、高齢者の介護予防や健康寿命延伸を推進します。
- 市民の自主的な健康づくりを促す取り組みであるきりゅう健康ポイント事業「100点チャレンジ」について、協力店を増やすことにより、事業のPRを強化します。
- 活動量計を用いたウォーキング教室の開催など、新たに‘歩く健康づくり’の推進に取り組み、生活習慣病を予防しながら健康寿命の延伸を図るとともに医療費の抑制につなげます。
- 引き続き、過去の健診結果や受診履歴等のデータ分析から対象者の特性を踏まえた、個別通知による特定健康診査の受診勧奨を行うとともに、新たに、特定保健指導対象者へ個別通知による利用勧奨を行い、特定保健指導利用率向上に努め、生活習慣の改善による疾病予防を図ります。



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり②

施策の方向性

(2)将来を見据えた計画的なまちづくり

施 策

- 1. 持続可能な都市の形成
- 2. 中心市街地活性化の推進
- 3. 歴史まちづくりの整備
- 4. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進
- 5. 温暖化対策の推進
- 6. スポーツ施設の充実
- 7. 公共施設マネジメントの運営
- 8. 用途廃止後の施設の有効活用

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
中心市街地の空き店舗 率	目標値		18.8	18.6	18.4	18.2	18.0	%
	実績値	19.0						
歴史的風致形成建造物の 指定件数【延べ】	目標値		6	9	12	15	18	件
	実績値	3						
市の事務・事業から排出 される温室効果ガスの排 出量	目標値		33,508	33,164	32,819	32,475	32,130	t-CO ₂
	実績値	34,197						
公共施設等総合管理計 画の類型別に策定する 個別計画策定数【延べ】	目標値		23	23	23	23	23	計画
	実績値	0						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

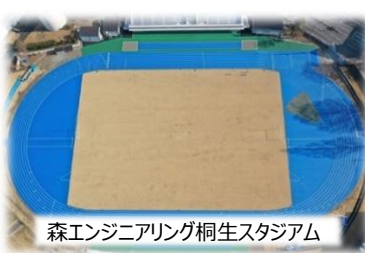
- 持続可能な「まち」を形成するため、「桐生市コンパクトシティ計画」に基づき、都市機能と居住の誘導を進めます。
- 商店街団体が実施する各種イベントや施設整備への助成を通じて、商店街の賑わい創出や魅力向上などを支援します。
- 国に認定された「桐生市歴史的風致維持向上計画」に基づいて、重伝建地区を核とした桐生の歴史・伝統・文化を継承していくとともに、美和神社・西宮神社周辺の整備を推進します。
- 重伝建地区の歴史的町並みの保存・継承に当たり、伝統的建造物の計画的な保存修理を進めるため、修理計画作成のための事前調査を行うなど、建物所有者との調整を進めます。
また、地区の防災対策について、防災訓練を実施するなど、地元町会や自主防災会と連携した防災意識の向上に努めます。
- 重伝建地区への来訪者が町の魅力を実感でき、地区の交流拠点としての機能を果たす「（仮称）重伝建地区公開活用施設」について、一般公開に向けた整備を進めるため、保存修理工事実施設計を行います。
- 国際的な動向等を踏まえ、環境保全や温室効果ガス排出削減に努めるとともに、「桐生市環境先進都市将来構想」の実現を目指し“ゆっくりズムのまち桐生”の具現化などに取り組みます。
- 市民や市内企業の環境意識の高揚やエネルギーの効率的な利用促進を目的に、新エネ・省エネ施設や電動アシスト自転車の購入費用の一部補助を引き続き行います。
- 新市民体育館、新陸上競技場が多く市民に有効利用いただけるよう、利用促進に努めます。
- 旧体育館解体後の跡地を駐車場として整備します。
- 桐生・みどり未来創生会議において、「今後の施設の整備においては、広域的な枠組みも視野に入れる中で、両市で協調した取組を考える必要がある」との方向性が示されたことから、みどり市と公共施設のあり方について協議を進めながら、施設の具体的な管理の方向性を定める個別計画の策定に向けて取り組みます。
- 公共施設等総合管理計画に基づき、統合や廃止となる施設が増えていくことが見込まれることから、跡地利用の計画がない普通財産について、売却等を検討します。



山手通り整備イメージ図



桐生ガススポーツセンター



森エンジニアリング桐生スタジアム



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり③

施策の方向性

(3)地域連携の推進と交通基盤の整備

施 策

- 1. 地域連携の推進
- 2. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備
- 3. 幹線道路の整備
- 4. 鉄道利用の促進
- 5. バス交通網の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
広域連携事業数	目標値		61	63	65	67	69	事業
	実績値	59 (2017年度)						
都市計画道路の整備率【延べ】	目標値		47.5	47.6	47.7	47.8	47.8	%
	実績値	47.2						
市内17駅の1日平均乗降者数	目標値		14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	人
	実績値	14,673						
人口1人当たりのバス交通の年間利用回数	目標値		3.55	3.55	3.55	3.55	3.55	回
	実績値	3.55						

R3 (2021) 年度の主な推進内容

- 「桐生・みどり未来創生会議」で協議した観光、公共交通、防災をはじめとする各分野の連携事業を着実に進めるとともに、市有施設の在り方等の両市が共通して抱える課題についても協力しながら検討を進め、引き続き「桐生・みどり未来創生会議」を開催する中で、地域の発展や魅力向上につなげられるよう、連携強化を図ります。
- 高速道路網を利用した首都圏や沿線地域との広域的な連携の強化を図るため、北関東自動車道へのアクセス道路となる県道太田桐生線バイパス整備や渡良瀬幹線道路整備の早期事業化に向けた調整を県と連携して推進します。
- 主要幹線道路である都市計画道路「赤岩線」などの整備を県と連携して推進します。
- 新桐生駅構内へのエレベーター設置等のバリアフリー化について、施工する東武鉄道や県と引き続き協力して進め、新桐生駅の利便性と魅力の向上を図ります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい経営状況にある鉄道事業者に対し、県や沿線都市と協調し安全で安心な運行を継続するための適切な支援の検討を進めます。
- おりひめバスについて令和3年4月に路線改編を行い、予約制乗合タクシーの新規導入路線を含め、バス停を約30カ所追加するなど運行体系を大幅に見直したことから、利用者に混乱が生じないよう分かりやすい利用案内に努めるとともに、乗降者数などの状況を把握しながら、利用者や地域の意見を聴く中で、さらに利用しやすく効率的な運行体系につながる見直しを進めます。

